

1 day workshop Introduction of the Art of Yield

1日ワークショップ イールドワークの紹介

日時：2021年6月4日(金)10:15-18:45

講師：田畑浩良

CE取得単位：1 Rolf Movement®認定単位※

受講料：20000円

参加対象：日本ロルフィング協会会員及び協会推薦のある方、IASI認定SI施術者、ISMETA認定施術者
(オンライン参加でペアワークする一方がロルファーであること)

定員：東京会場対面参加6名迄 +オンライン参加でトータル8名まで

最低施行人数：対面参加2名を含む計4名以上

申込みフォーム：<https://yielding.work/script/mailform/workshop/>

イールドは、母胎に対して自らを委ねる動きで、すべての動きはまずイールドから起こります。イールドは、様々な緊張のパターンをリセットさせ、硬くなってしまった組織に再び動きを取り戻す手助けをします。施術者の知覚と施術者・受け手との「間」が、受け手のイールドを促すことを見出した開発者自身によるThe Art of Yield (Yielding Embodiment®)の一日紹介クラスです。

“The Art of Yield is an exploration in being fully present and in observing the whole again and again.” イールドの技法は、完全に”今”に存在し、幾度も全体を観察することの探求です。

メアリー・ボンド Rolf Movement名誉教員、新しい姿勢のルールの著者

Core structure and perception of G-center

重心のコア構造と知覚

日時：2021年4月29日(祝)～5月2日(日) 10:15-18:45

講師：田畑浩良

CE取得単位：4 Rolf Movement®認定単位※

受講料：80000円

参加対象：日本ロルフィング協会会員及び協会推薦のある方、IASI認定SI施術者、ISMETA認定施術者
(オンライン参加でペアワークする一方がロルファーであること)

定員：東京会場対面参加6名迄 +オンライン参加でトータル8名まで

最低施行人数：対面参加2名を含む計4名以上

申込みフォーム：<https://yielding.work/script/mailform/workshop/>

骨盤の水平性、ロルフィングの10シリーズを通してのゴールですが、その意味するところは、安定した肚を支える構造と感覚にあります。それが達成されるとき、身体は重力と調和し、力が内側から「湧いてくる」状態につながるのではないかと考えています。骨盤構造の再構成に加えて、重心の感覚を探求し、それが身体的共鳴によって受け手と共振する時、動的な肚の感覚が引き出され、心身の安定につながります。

※CE単位の取得は、認定ロルファーに限定されます。

Enhancement of Support system

支えの充実

日時：2021年6月22日(火)～25日(金) 10:15-18:45

講師：田畑浩良

CE取得単位：4 Rolf Movement®認定単位※

受講料：80000円

参加対象：日本ロルフィング協会会員及び協会推薦のある方、IASI認定SI施術者、ISMETA認定施術者
(オンライン参加でペアワークする一方がロルファーであること)

定員：東京会場対面参加6名迄 +オンライン参加でトータル8名まで

最低施行人数：対面参加2名を含む計4名以上

申込みフォーム：<https://yielding.work/script/mailform/workshop/>

統合を進めるためには、支えの重要性をいくら強調しても足りないくらいです。支えは関係性から生まれません。上肢(肩甲帯)、頭部に直接働きかけて、変化が頭打ちで持続性がないとしたら、もう一度下肢や骨盤帯の基礎的な土台に着目し直す必要があります。関節間、足底骨どうしの関係性の改善を促すタッチを紹介します。

Breath and somatic resonance

身体的共鳴と呼吸

日時：2021年11月30日(月)～12月3日(金) 10:15-18:45

講師：田畑浩良

CE取得単位：4 Rolf Movement®認定単位※

受講料：80000円

参加対象：日本ロルフィング協会会員及び協会推薦のある方、IASI認定SI施術者、ISMETA認定施術者
(オンライン参加でペアワークする一方がロルファーであること)

定員：東京会場対面参加6名迄 +オンライン参加でトータル8名まで

最低施行人数：対面参加2名を含む計4名以上

申込みフォーム：<https://yielding.work/script/mailform/workshop/>

いわゆるコヒーレントな状態を受け手から引き出すためには、施術者自らの状態、プレゼンスのクオリティを向上させる必要があります。受け手を呼吸をモニターすることは、様々な技法で普遍的に役立つ方法です。呼吸のポテンシャルを高めるための、手技的及び知覚的な介入を空間身体学的な観点から学び、実践していきます。

TOPIC: 今回オンラインでの参加を導入します。

オンライン参加条件：聴講場所で交換セッションが可能で、Wifi環境が整っていること。

交換セッションの組み手の少なくとも一方が認定ロルファーであること。

例) 2人で申し込んで、一方のセッションルームで受講。

交換セッション可能(クラス内容に興味のあるロルファー以外の身体感覚がある程度あって適切なフィードバックが得られるような)な人材を見つけて一緒に申し込む。

注意点：オンライン参加の場合、相方が体調不良で不参加になった場合はペアワークができなくなるため、2人ともキャンセル扱いになります。→ キャンセル規約を参照。

ワークショップ参加に際してのお願い

- 会場に関しては、賃貸契約上ワークショップの使用は許可されていないので、所在地が特定されるような情報は一切公開しない。
- 参加前の健康状態が心身共に安定していること。クラス終了後も2週間は、感染に気をつけ健康維持に留意すること。万が一参加者がクラス直後にPCR陽性と診断された場合に、その後のクラス運営や他の参加者の生活及び主催側にも社会的に深刻なダメージが及ぶ可能性があります。

現行の新型コロナウイルスのPCR検査については、偽陽性が検出される可能性がある。アスリートの内村航平選手が、一度目に陽性となり、別の医療機関2カ所で陰性になったニュースが記憶に新しい。一つには、Ct値の設定の問題があるとされており、科学的にはCt値30~35が適正とされているが、市販の検査キットのほとんどはCt値40以上に設定されており、偽陽性を拾う確率がさらに高い。検査を受ける自由を制限することはできないが、クラス参加前後には検査の必要がないレベルでの万全の健康状態で臨むようお願いいたします。

すでにPCR陽性と診断された方の場合は、以下の厚生労働省の退院・解除基準をクリアすること。
<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/000592996.pdf>

いずれにしても、クラスの前後は、感染防御と健康維持に特別の注意を払い、無症状での不必要なPCR検査は軽率に受けないことを同意した上で御参加ください。

キャンセルに関する規約

(申込みからお支払いについて)

- ・ 申込メール受け取り順に席を仮確保し、最終的に受講料の全額振込確認をもって受付完了とします。
- ・ 最低施行人数が集まり、受講料支払い依頼の通知を受け取った後、10日以内に日本ロルフィング協会の指定口座に受講料全額を振り込んで頂きます。
- ・ 期限内にもし御都合で振込できない場合はご連絡ください。

お振り込みが確認できない場合は、一旦キャンセルとなる可能性がありますのでご注意ください。

(キャンセルに関して)

主催者側(JRAまたは講師)の一方的都合によりキャンセルになった場合 → 全額返金

最低施行人数に達しなかった場合 → 全額返金

受講生の都合によりキャンセルする場合 → 開催が決定している場合、返金なし

事情により申込のみで受講料振込が未だという場合 → 後ほど受講料全額支払い

参加資格のある別の方に権利を譲渡することは可能。

いずれの場合も、旅費などの受講料以外の経費に関しては、JRAは免責とさせていただきます。
少人数制ということもあり、depositは設けていません。

ウイルス感染の場合も、通常のキャンセル規約を適用します。参加に際しては、クラス入室前に検温を実施し、37.5℃以上の場合は参加条件を満たさないということで、キャンセル扱いとなりますが、その場合も受講料の返金はありません。リモートでの参加に際しても、ペアとなる一方がキャンセルした場合は、ペアワークが不可能になるため、代替りの参加者を見つけて頂くか、見つからない場合は自動的に2人ともキャンセル扱いとなることをご了承ください。事前に感染症の疑いが生じた場合は、自らの倫理観に基づいて行動してください。いずれにしても十分に体調を管理して、参加にコミットした上でお申込みください。